

総 括 事 項

1 名称・所在地

高知県水産試験場

(本場)

高知県須崎市浦ノ内灰方1153-23

電 話：088-856-1175 e-mail：040409@ken.pref.kochi.lg.jp

F A X：088-856-1177 HP : <https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/>

交通機関：JR高知駅(高知市)からとさでん交通バス宇佐行き乗車、宇佐終点から徒歩10分

(古満目分場)

高知県幡多郡大月町古満目330

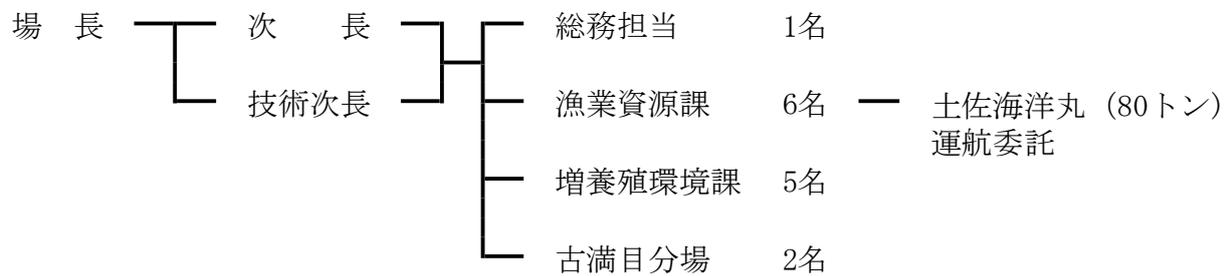
電 話：0880-72-1072 F A X：0880-72-1073

交通機関：高知西南交通 古満目バス停で下車、徒歩5分

2 沿 革

明治34年	県庁内に設立
35年	須崎町に新庁舎建設し移転
大正9年	講習部新設
昭和元年	無線電信陸上局新設
19年	講習部廃止
21年	南海地震により庁舎一部破損、備品類大部分を流失
29年	15号台風により庁舎全壊
30年	庁舎新築
43年	幡多郡大月町古満目に実験室設置
46年4月	須崎市浦ノ内灰方に庁舎新築移転
46年4月	大月町古満目に試験地設置
48年4月	大月町古満目に実験所設置
53年3月	土佐市宇佐町竜に無線局移転
57年4月	無線局業務を須崎無線漁業協同組合へ移管
58年1月	海洋開発調査船「土佐丸」竣工
58年4月	栽培漁業センターの設置に伴い古満目実験所を廃止、大月町に貸与
61年3月	海洋漁業調査船「土佐海洋丸」竣工
61年7月	皇太子殿下下行啓
平成3年2月	海洋漁業センター新築
9年4月	機構改革により、5課(科)体制が4課(科)体制となる
10年4月	機構改革により、産業技術委員会事務局へ移管
15年12月	海洋開発調査船「土佐丸」廃船
17年4月	機構改革により、4課(科)体制が3課(部)体制となる
17年9月	横浪林海研究交流センターの設置
19年4月	機構改革により産業技術部に組織替え及び3課(部)体制が3課体制となる
20年7月	海洋漁業調査船「土佐海洋丸」廃船
20年9月	新海洋漁業調査船「土佐海洋丸」竣工
21年4月	機構改革により、水産振興部に移管
23年4月	機構改革により、3課体制が2課体制となる
28年10月	大月町古満目に古満目分場設置

3 令和2年度機構及び人員



4 令和2年度職員一覧

場長 岩崎 健吾
 次長 谷 健二
 技術次長 柳川 晋一

職名	職種	氏名	備考
主任（総括）	行政職	小松 和彦	
漁業資源課長	研究職	清水 重樹	
チーフ	研究職	漁崎 盛也	
主任研究員	研究職	杉本 昌彦	
主任研究員	研究職	伊與田 慎右	
主任研究員	研究職	山下 慶太郎	
研究員	研究職	松田 裕太	
増養殖環境課長	研究職	梶 達也	
チーフ	研究職	山下 樹徹	
主任研究員	研究職	池部 慶太	
主任研究員	研究職	占部 敦史	
主任研究員	研究職	谷口 越則	
古満目分場長	研究職	荻田 淑彦	
主任研究員	研究職	鈴木 怜	

5 令和2年度当初予算

(単位：千円)

課 題 名 ・ 事 業 名	予算額	うち、国庫 支出額	うち、受託 事業収入
水産試験場管理運営費	109,787		0
管理運営費・共通経費・施設整備費 (本場)	21,516		
管理運営費・施設整備費 (古満目分場)	13,265		
調査船運航事業費	75,006		
水産業試験研究費	59,904	4,269	29,678
地域レベルでの漁況海況情報の提供	4,608		1,106
資源評価調査委託事業	14,785		14,705
日本周辺高度回遊性魚類資源調査委託事業	7,737		7,698
浮魚礁モニタリング調査事業	763		
急潮に強い定置網漁業への転換に向けた現場潮流の解析	2,152	935	
魚類養殖における寄生虫の新たな防除技術の開発	1,887	900	
赤潮の早期検知と海水からの病原体の検出技術の開発	696	348	
高精度な漁況漁場予測手法の開発	2,067	952	
資源・漁業情報ネットワーク事業 (古満目分場)	6,169		6,169
赤潮の早期検知と海水からの病原体の検出技術の開発	1,006	503	
新養殖対象種の探索と種苗生産技術の開発	1,313	631	
技術支援事業費 (干潟及び藻場回復の取組に関する支援)	1,211		
会計年度任用職員経費	15,510		
水産振興部から令達事業	3,910	279	743
赤潮等発生監視調査事業	207		
赤潮・貧酸素水塊漁業被害防止対策事業	743		743
養殖衛生管理整備事業	559	279	
沿岸沖合漁業振興事業	2,401		
計	173,601	4,548	30,421

<参考> 水産試験場当初予算額の推移

年度	金額（千円）	対前年比（％）	年度	金額（千円）	対前年比（％）
H11	206,537	85.7	H22	119,763	100.3
12	216,315	104.7	23	177,210	148.0
13	215,814	99.8	24	165,789	93.6
14	206,028	95.5	25	190,066	114.6
15	185,881	90.2	26	155,751	81.9
16	141,467	76.1	27	159,503	102.4
17	141,753	100.2	28	173,101	108.5
18	128,976	91.0	29	192,738	111.3
19	131,877	102.2	30	185,347	96.2
20	114,156	86.6	H31/R元	178,075	96.1
21	119,434	104.6	R2	173,601	97.5

6 令和2年度業務実績

(1) 学習会・研修会等

開催日	講師	講演内容	会議・研修会等名称	開催場所	対象者	参加人数
11/25	谷口 越則	魚類防疫について（感染症への対策）	宿毛湾魚類養殖検討会	大月町農村環境改善センター	養殖業者、医薬品販売業者、漁協職員	37
3/5	山下 慶太郎	・近年のカツオ流通動向 ・亜熱帯海域におけるカツオ幼稚仔魚調査	高知カツオ県民会議オンラインセミナー	WEB	カツオ県民会議委員等	-
3/22	山下 樹徹	令和2年度天皇洲アサリ資源量調査の結果について	第21期39回高知海区漁業調整委員会	県民文化ホール	高知海区漁業調整委員会委員	11
3/25	山下 慶太郎	2021年カツオ漁業の見通し	高知県近海鯉漁撈通信協議会	水産会館	近海かつお漁業係者	15

(2) 研究会・シンポジウム等の開催

開催日	開催名称	開催場所	参加人数
10/28～29	太平洋中・南ブロック資源海洋調査研究会	高知城ホール (Web同時開催)	125人

(3) 学会・研究会等での発表（口頭発表・ポスターセッション含む）

発表日	所属	発表者名	演題	学会・研究会等名称	開催場所
10/28	漁業資源課	山下 慶太郎	高知県周辺海域におけるカツオの漁獲と海況	令和2年度太平洋中・南ブロック資源海洋調査研究会	高知城ホール
10/28	漁業資源課	杉本 昌彦	資源量減少期の宿毛湾周辺におけるカタクチイワシの漁場特性	令和2年度太平洋中・南ブロック資源海洋調査研究会	高知城ホール
10/28	増養殖環境課	梶 達也・久野正博・福田博文・阪地英男	アーカイバルタグに蓄積されたデータから推定した高知県周辺海域における根付きブリの遊泳生態	令和2年度太平洋中・南ブロック資源海洋調査研究会	高知城ホール
10/28	増養殖環境課	梶 達也・久野正博・福田博文・阪地英男	高知県の大型定置網漁場に来遊するブリの遊泳生態	令和2年度太平洋中・南ブロック資源海洋調査研究会	高知城ホール
10/29	増養殖環境課	柳川 晋一	若齢個体が採集できなかったハモ <i>Muraenesox cinereus</i> の成長式の算出方法について	令和2年度太平洋中・南ブロック資源海洋調査研究会	高知城ホール
12/1	漁業資源課	山下 慶太郎	高知県近海竿釣船によるカツオの漁獲動向	水産関係者との意見交換会「カツオ・ビンナガ・メバチに関する最近の話題」	水産会館
12/25	漁業資源課	松田 裕太	リアルタイム流向流速観測ブイの紹介	日本周辺における環境急変現象（急潮）のメカニズム解明及び防災に関する研究集会	九州大学筑紫キャンパス
1/29	漁業資源課	山下 慶太郎	高知県沿岸カツオ漁と黒潮流路との関係	水産海洋学会・地域研究集会「黒潮大蛇行期における沿岸カツオ漁の特徴」	Web開催
2/26	漁業資源課	漁崎 盛也	高知県の主要魚種の生態と海況について	令和2年度第3回共通座学研修会	水産会館

* 発表者複数名の場合、太字の氏名は当場所所属職員

(4) 投稿論文・執筆等

所属	著者名	題目	投稿学会・書籍名等
漁業資源課	山下 慶太郎	高知県周辺海域におけるカツオの漁獲と海況	黒潮の資源海洋研究第22号
漁業資源課	杉本 昌彦	宿毛湾周辺海域におけるカタクチイワシの資源低加入期の漁獲特性	黒潮の資源海洋研究第22号
増養殖環境課	梶 達也・久野正博・福田博文・阪地英男	アーカイバルタグに蓄積されたデータから推定した高知県周辺海域における根付きブリの遊泳生態	黒潮の資源海洋研究第22号
増養殖環境課	梶 達也・久野正博・福田博文・阪地英男	高知県の大型定置網漁場に来遊する回遊型ブリの遊泳生態	黒潮の資源海洋研究第22号
水産試験場	柳川 晋一	若齢個体が採集できなかったハモ <i>Muraenesox cinereus</i> の成長式の算出方法について	黒潮の資源海洋研究第22号
室戸漁業指導所（現所属）	Kazuo Ishikawa, Chikako Watanabe, Takahiko Kameda, Tsutomu Tokeshi, Hikari Horie, Daisuke Hashida, Toshiyuki Ookawa , Takashi Takeda, Masahiro Kuno, Yuki Suzuki, Shozo Takamura, Ryouyusuke Fukumoto, Sachihiko Itoh	Spatiotemporal variability in the occurrence of juvenile Japanese jack mackerel <i>Trachurus japonicus</i> along coastal areas of the Kuroshio Current	Fisheries Oceanography. 2021

* 著者が複数名の場合、太字の氏名は当場所所属職員。ただし、Toshiyuki Ookawa（現所属：室戸漁業指導所）は、共同研究時に当場に所属

(5) 海洋漁業調査船 「土佐海洋丸」 運航実績

航海期間	調査項目	運航日数
4/6～14	・土佐湾、室戸東、宿毛湾、足摺沖及び室戸沖の定線調査 ・漁場一斉調査	8
5/7～12	・土佐湾及び室戸東の定線調査 ・漁場一斉調査	6
5/18～22	・浮魚礁モニタリング調査 ・土佐黒潮牧場ブイ（以下「黒牧」という。）6号、8号、9号、10号、11号、12号、13号、14号、15号、16号、17号、18号、19号、20号、21号 ・中層魚礁 横浪、佐賀、羽根、安田、黒牧9号、11号、12号、13号、14号、17号、18号	5
5/25～26	・黒牧6号、8号、13号点検	2
6/1～4	・大水深域漁場調査の関連調査 (水質環境調査、黒牧13号等へのカツオピンガー受信機の設置等)	4
6/5～9	・土佐湾及び室戸東の定線調査	5
6/22～27	・大水深域漁場調査	5
7/1～7/6	・土佐湾及び室戸東の定線調査	5
7/10	・キンメダイ漁場環境調査	1
7/15～17	・土佐湾の定線調査 ・大水深域漁場調査の関連調査（黒牧13号等へのカツオピンガー受信機の回収）	3
7/22～24	・大水深域漁場調査	3
7/27～29	・大水深域漁場調査（刺網調査協力）	3
8/3～9	・土佐湾、室戸東、足摺沖及び室戸沖の各定線調査	7
9/9～14	・土佐湾及び室戸東の定線調査 ・キンメダイ漁場環境調査	6
9/28～10/19	・回航（上架修繕）	2
10/20～25	・土佐湾及び室戸東の定線調査	5
10/28～11/5	・大水深域漁場調査（計量魚探調査、刺網調査協力等）	8
11/10～19	・土佐湾、室戸東、宿毛湾、足摺沖及び室戸沖の各定線調査	10
11/24～26	・黒牧13号点検 ・大水深域漁場調査の関連調査（ピンガー受信機レンジテスト）	3
12/3～10	・土佐湾、室戸東及び宿毛湾の各定線調査 ・キンメダイ漁場環境調査	8
1/9～16	・土佐湾、室戸東及び宿毛湾の各定線調査 ・キンメダイ漁場環境調査	8
1/20～21	・黒牧17号点検	2
2/3～2/9	・土佐湾、室戸東、宿毛湾の各定線調査 ・キンメダイ漁場環境調査	7
3/1～3/11	・土佐湾、室戸東、宿毛湾、足摺沖、室戸沖の各定線調査 ・漁場一斉調査 ・キンメダイ漁場環境調査	9
3/23～24	・黒牧13号点検	2
計		127

* 運航日数には、荒天等による港内での待機日を除く